

登録コード	L2331000		開講年度	2026			
担当教員	鎌田 隆行			副担当			
授業科目	フランス言語文化基幹演習						
英文授業名	French Language and Culture: Basic Seminar						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	金曜・2時限
講義室	人文501演習室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降加わらぬ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			教科書の講読と問題演習によって、日常的なフランス語の基礎的表現力を身につけることができますようになります。			
	【2023年度以降加わらぬ対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			教科書の講読と問題演習によって、日常的なフランス語の基礎的表現力を身につけることができますようになります。			
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	授業の概要 演習形式の授業です。フランスおよびフランス語圏に関連する最新のトピックを易しく分かりやすい文章で講読します。受講生はフランス語の基礎を復習しながら、政治、経済、歴史、社会、産業、文化、教育、芸術、スポーツなど、様々な分野にわたる興味深い話題を通して、言葉の背後に広がる社会や文化の多様性を自然な形で学びます。						
授業計画	1. ガイダンス：この授業の進め方、教科書、辞書、事前事後学習の方法について学びます 2. フランスの時事問題（2025年）の概要 3. フランスの日本人サッカー選手たち 4. フランス政局の激動 5. アルザス地方の料理 6. フランスの子どもの課外活動 7. ストリート・ミュージシャンたち 8. ミストラルAI——フランス流のイノベーション 9. ベトナム、カンボジア、ラオスとフランス 10. パルクールシュップ 11. 関連記事：映画と演劇 12. 関連記事：文学作品 13. 関連記事：食文化 14. 関連記事：旅行 15. まとめ；この授業についてのアンケート（10分程度）を行います						
成績評価の方法	授業での講読・演習（50％）と期末試験（50％）により、総計点に基づいて成績評価を行います。						
成績評価の基準	講読・演習：(1)構文の理解、(2)語彙の理解、(3)発話状況の理解、(4)文体的特徴の理解、(5)歴史・社会的コンテクストの理解を判定基準とし、（1）～（5）に加えて、授業で学んだ文献が適切に参照されていれば「卓越している」。(1)から(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」と評価されます。 期末試験：授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」と判断します。						
事前事後学習の内容	毎回の授業の終わりに学習内容を振り返って事後学習用の短答式課題を出題し、また、次回の内容につながる予習の指示を行います。次の回の冒頭で、前回の事後学習課題について討議を行います。 この授業は90時間の学習を必要とする内容です。したがって、60時間以上の授業時間外学習が必要となります。						
履修上の注意	フランス語の演習の授業のため、フランス語学習者が対象です。 受講前に必ずこの授業のeALPSを参照してください。 当然ながら、不測の事態がない限り毎回出席すること。 この科目では授業内での読解・討議・課題への取り組みを重視します。これらは出席を前提として行われるため、欠席が多い場合、高得点は困難になります。						
質問、相談への対応	授業終了後、時間があればその場で質問に応じます。それ以外の時間はメールで対応します（メールアドレスはeALPSに掲載）。						
教科書	次の教科書を使用します。大学生協で購入してください。 石井洋二郎 /野崎夏生 /ジョルジュ・ヴェスィエール『時事フランス語 - 2026年度版 - 』、朝日出版社、2026年、本体1,900円+税 ISBN: 978-4-255-35390-6 （教科書の前半を講読します。後半は後期の授業「フランス言語文化基幹演習」で講読します）						

参考書	授業中に随時紹介します。
-----	--------------